

2025 年度 第 1 回学校関係者評価委員会 議事録

日時：2025 年 6 月 28 日（土）10:00～12:00

場所：本校 7 階研修室

議長：石川委員長

出席者：

- **委員：**赤塚敦子（看護関連業界関係者）、石川幹夫（卒業生）、金子千尋（新任・保護者）、倉本昌幸（新任・医療事務関連業界関係者）、齊藤つばさ（くすり関連業界関係者）、森川雅彦（高等学校関係者）（計 6 名）
- **本校：**川口拓也（校長）、榊原幸之（事務局長）、石澤雅子（医療秘書科学科長）、川畑亮子（医療事務 IT 科学科長・診療情報管理科学科長）、渋谷大樹（くすり・調剤事務科学科長代理、教務委員長）、松田朗（介護福祉科学科長）、伊東由美（看護科学科長）、渡邊明子（看護科学副学科長）、松本晋圭（広報室長）、杉本拓朗（キャリアサポートセンター長）、土屋瑠美子（学務課長・委員会事務局）、土方雄太（委員会事務局）（計 13 名）
- **委員会事務局：**土屋瑠美子、土方雄太

欠席者：藤井寿和委員（福祉関連業界関係者）、前田律子（副校長）、結城久美子（くすり・調剤事務科学科長）

議題等

1. 校長挨拶

川口校長より、委員会開催への感謝、新任委員の紹介、創立 90 周年を迎えた本校の歴史と現状について挨拶があった。特に、少子化という厳しい環境下で教育の質を維持・向上させるため、委員からの忌憚のない意見を求める旨が伝えられた。

2. 事務局より今年度委員及び新任者の紹介

事務局より今年度の委員が紹介され、続いて新任の委員より自己紹介と抱負が述べられた。

3. 2024 年度第 3 回委員会議事録について（資料 2 参照）

事務局より前回議事録案が提示され、委員より特に修正意見はなく、原案通り承認された。

4. 2024 年度第 3 回委員会以降の主な経過について（資料 3 参照）

各担当者より報告が行われた。詳細は別紙のとおり。

5. 意見交換など

各分野の教育課程編成委員会と今年度の学科の概況について報告し、意見交換を行った。詳細は以下のとおり。

別紙

2025 年度 第 1 回学校関係者評価委員会の主な討議内容

次第 4. 2024 年度第 3 回委員会以降の主な経過について（資料 3 参照）

○ 川口校長、榊原事務局長、松本広報室長、杉本キャリアサポートセンター長、渋谷教務委員長、土方委員会事務局より、資料 3 に基づき報告が行われた。（報告の詳細は省略）

○ 委員からの質問・意見と回答は次のとおり。

委員からの質問・意見	質問・意見への回答
○男子学生の比率が低い点が気になる。医療分野にもう少し男性が多くても良いのではないかな。	○本校としても課題と認識している。男子学生同士の交流を促す「男子会」を企画・実施し、学科を超えた横のつながりを支援している。この活動の様子は SNS でも発信し、男子学生が安心して学校生活を送れることをアピールしている。
○病院事務の分野で、男性が活躍できるキャリアパス（事務長など）があることを、もっと高校生に知らせるべきではないかな。	○病院としても、医事課を経験した後に総務や人事などの管理部門で活躍する男性職員は非常に重要である。そうしたキャリアイメージを学校側からも積極的に発信していくことは、男子学生の獲得に繋がると考える。 ○高校側への情報提供をさらに強化し、医療事務職における男性の多様なキャリアパスについて理解を深めてもらう必要がある。 ○現場での課題は認識している。一方で、管理職を目指す上で性別に優劣はないはずであり、病院事務という仕事の魅力を男女問わず伝えていくことが重要だと考える。
○商業高校出身の男子生徒はパソコンスキルも高く、医療事務分野で活躍できる素質があるが、卒業後は就職を選ぶ傾向が強い。専門学校という選択肢が十分に認知されていないのではないかな。	○高校の先生方に、男子生徒も歓迎していることを積極的にアピールし、進路選択の幅を広げてもらう働きかけが重要である。
○学生の出席状況が芳しくない場合、保護者との連携はどのように行っているか。	○メンタル不調など個別の事情に配慮しつつ、保護者への連絡は早期に行うようにしている。学校と家庭が連携して学生をサポートする体制が重要だと考えている。
○資格試験の結果について、合格率だけでなく、受験者数や合格者数などの実数も示してほしい。	○検定結果の詳細は次回報告する。入学前教育については、看護科で e ラーニングを導入する

い。また、入学前の学生に対して課題を課すなど、学習意欲を高める工夫はできないか。	など各学科で取り組んでいる。本日のご意見を参考に、今後さらに内容を充実させていきたい。
--	---

次第 5. 意見交換など（学科の概況について）

各学科からの報告

【医療秘書科】（石澤学科長）

- ・就職状況は非常に好調である。
- ・学生の人間関係の課題には、担任と学生相談コーナーが連携するとともに、クラス編成を工夫した。

【医療事務 IT 科・診療情報管理科】（川畑学科長）

- ・就職は両学科とも好調である。
- ・診療情報管理士試験も無事に終了した。

【くすり・調剤事務科】（渋谷学科長代理）

- ・就職希望者全員が内定した。
- ・登録販売者試験の合格率は向上した。来年度からはカリキュラムを変更し、1 年次から受験可能とする。

【介護福祉科】（松田学科長）

- ・定員増により留学生数も増えた。
- ・国家試験の模擬試験は全員が受験した。

【看護科】（伊東学科長）

- ・昨年度は新カリキュラムの完成年度であった。実習を通じて学生は大きく成長した。
- ・留学生の増加に伴い、言語や文化の壁を乗り越えるための支援をしていく。

6. 2024 年度重点目標の取り組み年度末点検報告

異議なし

7. 2023 年度学校関係者評価報告書に示された意見・課題への取り組み年度末点検報告

異議なし

8. 2024 年度活動の自己評価報告書（点検大項目）について

異議なし

9. 次回日程、その他

事務局より、次回の委員会は 10 月 25 日（土）または 26 日（日）に開催予定であることが報告され、了承された。

10. 閉会

石川委員長より閉会の挨拶があり、議事を終了した。

以上